

基督教教学研究

第 13 号

論文

内村鑑三における「内と外」の論理 原 島 正 一

キリスト教倫理の源泉 名木田 薫 三

七十人訳翻訳史序説(二) 秦 剛 平 五

隠喩と神学的実在論 芦 名 定 道 五

研究ノート

ニュッサのグレゴリオスの「鏡における神認識」の存否 土 井 健 司 一〇三

オリゲネスにおける神のエネルギー 松 丸 太 二四

彙報

Theology. volume one]

林 忠良講師 演習 Kierkegaard: Der Begriff Angst]

宮庄哲夫講師 演習 Luther: Vorlesung über den Römerbrief]

一九九〇年度基督教教学講座講義題目

水垣 涉教授 講義 「キリスト教思想の基礎：救済観」

研究 「信と行」

佐藤吉昭講師 研究 「古代教父における諸問題」

片柳栄一講師 研究 「探求と発見—アウグステイヌス哲学研究」

稲垣良典講師 研究 「中世の倫理思想」

水垣 涉教授 演習 「オリゲネスの聖書解釈学」

演習 「基督教教学基礎演習 (I)」

R. Bultmann: "Theologie als Wissenschaft"

演習 「基督教教学基礎演習 (II)」

『ローマ人への手紙』2章 (原典講読)』

長谷正当教授 演習 「P. Tillich: Systematic

一九九〇年度論文題目

卒業論文

武藤 慎一 「クリュノストモスの比喩解釈—「エペソ書講解」二十に於ける夫婦関係の問題をめぐって—」

岡田めぐみ 「キルケゴールにおける「信仰と自己」について—「哲学的断片」を中心に—」

山内 信一 「信の本質」

修士論文

松丸 太 「オリゲネスにおける神の本性とエネルゲイア」

第一号 目次

終末論の二類型	武藤 一雄
キリスト論の視点	森田 雄三郎
初期アウグスティヌスの人間学	金子 晴勇
Lumen Christi	佐藤 吉昭
ルターの „Obigkeit“ に関する一考察	早乙女 禮子
ルターにおける信仰と礼典	竹原 創一
バルト「ローマ人への手紙」における神認識	村山 周治

第二号 目次

オリゲネスの「キリスト教理解」	水垣 渉
ゲッセマネ	大島 征二
神学における言葉の問題	竹原 創一
アウグスティヌスにおけるキリストの 人性について	小池 三郎
ギリシヤ語旧約聖書における <i>razdela</i> について	伊藤 利行
エルンスト・トレルチにおける „Kom- promis“ の概念	安酸 敏真
シェリングに於ける「世界経験」について	森 哲 郎
ルターにおける「外」と「内」につい ての一考察	片柳 俊子

第三号 目次

キルケゴール研究の方法について……………小川圭治
 エイレナイオスと聖書……………菊地栄三
 テイリツヒの芸術神学について……………田辺明子
 絶対の相の下に……………片柳栄一
 ルターの律法理解……………宮庄哲夫
 聖書へブル語統辞論のテキスト言語学的考察……………勝村弘也

第四号 目次

ルターの解釈学は「実存論的解釈」と
 いえるか……………今井晋
 キプリアヌスの教会理解……………佐藤吉昭
 ノビリの印度伝道……………塩谷悟
 テンブルックのヴェーバー解釈をめぐる論争……………高野晃兆
 フィロンとキリスト教……………平石善司
 ルターの抵抗権思想における服従の問題……………早乙女禮子
 創世記テキストにおける語りの技法……………勝村弘也
 シェリングに於ける神話と世界……………森哲郎
 ヘクサプラ断片の残存率について……………伊藤利行

第五号 目次

解釈学的教義学の構成について…………… 森田雄三郎
 内村鑑三と「身体の救い」…………… 原 島 正
 言語芸術作品としての旧約聖書物語テキスト…………… 勝村 弘也
 エルンスト・トレルチにおける「歴史
 の神学」の構想…………… 安 酸 敏 真
 教義学的思考における解釈学的循環の問題…………… 掛川 富康
 第六号 (武藤一雄名誉教授古稀記念特別号) 目次
 神学的宗教哲学について…………… 武藤 一雄
 アレクサンドリアのフィロンにおける
 能動と受動の問題…………… 水 垣 涉
 奇蹟物語へのマージナリア…………… 大島 征二
 アルバート・シュヴァイツァーの聖餐
 論への新約聖書学的批判…………… 田 辺 明子

ヨセフスのモーセ物語について…………… 秦 剛平
 エイレナイオスの人間理解…………… 菊地 栄三
 キプリアヌスの『棄教者論』考察…………… 佐藤 吉昭
 アウグスティヌスの時間論…………… 片柳 栄一
 ルターにおける「アフエクトゥス」の問題…………… 今 井 晋
 ルターとアウグスティヌス…………… 金子 晴勇
 神学的構造主義の問題…………… 森田 雄三郎
 M・ヴェーバー「古代ユダヤ教」と
 パーリア民族の概念…………… 高野 晃兆
 浄土系仏教とキリスト教の救済論の
 一異に関する考察…………… 原田 博充
 日本の伝統的宗教的心情とキリスト教
 との関連について…………… 名木 田 薫
 ウィリアム・ケアリの伝道に対する貢献…………… 塩 谷 悟
 神概念の転換…………… 小川 圭治

第七号 目次

ルターと神学的決定論……………金子晴勇

Imago Deiとしての精神の自覚の
 三一的構造……………片柳栄一

脚下照顧……………武藤一雄

M・ヴェーバー「古代ユダヤ教」と
 カスペリの批判（一九二二）……………高野晃兆

パウル・ティリッヒと象徴の問題……………芦名定道

第八号 目次

キリスト教概念の成立（その一）……………水垣渉

アルベルト・シュヴァイツァーの「イ
 エス神秘主義」……………笠井恵二

シェリング『自由論』再考（一）……………森哲郎

ルターにおける職業観の問題……………早乙女禮子

第九号 目次

西田幾多郎とキリスト教

——瀧沢巳克の思索を手がかりとして——小川圭治

R・ブルトマンにとつてのイエスの

意義に関して……………名木田 薫

旧約物語テキストにおけるヒンネー

(見よ)の機能……………勝村弘也

シェリング『自由論』再考(二)

——自由と「地」の世界——……………森 哲 郎

P・ティリッヒの時間論……………

……………声 名 定 道

キェルケゴールの「自己の定義」について……………山 本 忠 義

第十号 目次

ルターにおける「体験」の問題

——一つの覚書——

„Sola experientia facit theologum“……………今 井 晋

シュタウピッツとルターの神秘思想……………金 子 晴 勇

ルターとカールシュタット(一)

——宗教改革の同志とライバル——……………宮 庄 哲 夫

ルターにおける試練について

——第二回詩篇講義より——……………竹 原 創 一

神学主義と宗教主義……………武 藤 一 雄

オリゲネス『原理論』に於ける悪の問題序論……………久 山 道 彦

キェルケゴール『死に至る病』の

「キリスト教的理解」……………信 岡 茂 浩

第十一号 目次

創造と進化

——創造における無——……………森田雄三郎

ルターとカールシュタット(二)

——主要事項をめぐる論争——……………宮庄哲夫

神言表の可能性とそのへ言述的「合理

化」の問題

——K・バルト二四年プロレゴメ

ナ『綱要』における聖書解釈

学と三位一体論——……………掛川富康

ヘブライズムとギリシア語聖書……………伊藤利行

エラスムスの「敬虔」概念の倫理的基礎……………畑宏枝

第十二号 目次

神探求の場の開示

——アウグスティヌスの照明説再考——

……………片柳栄一

二つの歴史的社会的イエス研究について

——土井正興『イエス・キリスト』と

田川健三『イエスという男』——……………大島征二

「思い煩う」(ルカ二二・二二~三三)

について……………田辺明子

レッスングの神学思想——序説……………安酸敏眞

自由意志論争におけるエラスムスとルター……………畑宏枝

アントニオスの修道

——古代キリスト教における

アスケシス研究序説——……………竹田文彦

第十三号編集実務委員会

執筆 者

原 島 正

名 木 田 薫

秦 剛 平

芦 名 定 道

土 井 健 司

松 丸 太

東洋英和女学院短期大学教授

岡山理科大学教授

多摩美術大学教授

大阪市立大学助教授

京都大学文学部助手

京都大学大学院博士課程在学中

小池三郎	高野晃兆	林忠良	片柳榮一	宮庄哲夫	勝村弘也	芦名定道
------	------	-----	------	------	------	------

一九九二年三月二十日印刷
一九九二年三月三十一日発行

定価 一〇〇〇円

発行者 京都市左京区吉田本町
京都大学文学部
基督教教学教室内
京都大学基督教学会

発行人 小池三郎
印刷所 河北印刷株式会社

本誌の御註文は、右記、京都大学基督教学会(振替京都三二七二〇七七)へ、送料とも一、二〇〇円(定価一、〇〇〇円)、送料二〇〇円)を添えてお申込み下さい。

JOURNAL OF CHRISTIAN STUDIES

KIRISUTOKYOGAKU KENKYU

Vol. 13

March, 1992

Contents

- Logic of 'Inner and Outer' in K. Uchimura's
Spiritual Ideas* Tadasi Harashima
- The Source of the Christian Ethics* Kaoru Nagita
- An Introduction to the Translation History of the
Septuagint (Part I)*..... Gouhei Hata
- Metaphor and Theological Realism* Sadamiti Ashina
- Can we find so-called 'The knowing of
God in the mirror' in the texts of St.
Gregory of Nyssa?* Kenji Do
- L'Énergie de Dieu chez Origène* Hutoshi Matumaru

THE SOCIETY OF CHRISTIAN STUDIES
KYOTO UNIVERSITY

Kyoto Japan